

平成18年12月（第5回）議会一般質問事項

1 広報いせさきについて

- (1) 内容及び発行回数
- (2) タイトル
- (3) ファイリング
- (4) ホームページ
- (5) 行政カレンダーの導入

2 (仮称) 東部モール周辺整備について

3 都市計画について

- (1) 進捗状況
- (2) 今後の予定
- (3) 見直し

4 中等教育学校について

- (1) 説明会
- (2) 基本構想
- (3) 施設
- (4) 開校時期
- (5) 名称

(6) 現在の高校

伊勢崎クラブを代表し、通告に従い、順次質問いたします。

第1点目、広報いせさきについてお尋ねいたします。

広報とは、一般に広く知らせること、またその知らせと辞典には書いてありません。

しかし、知らせることだけが広報の役割ではありません。

広報には、広聴、聞くことの意味も含まれます。

一方的に情報を伝えるのではなく、情報等の相互発信によって、お互いの間にいい関係、信頼関係をつくっていくこと、これが広報本来の意味するところであり、目的だと思われま

す。市行政を市民にもっと身近に感じてもらうためにも、市民にわかりやすい広報に努めることが極めて重要であると考えます。

今、市町村合併や地方分権、三位一体改革などが大きなテーマになっている背景には、行政としてこれ以上の財政負担はふやせない、行財政改革によってさまざまな経費を削減しなければならないという状況下にあります。

今、この地域が合併し、世の中が大きく変わろうとしているときこそ、広報活動はますます重要になります。

その背景や理由、自治体としての努力や工夫などを懇切丁寧に住民に説明し、理解をしてもらわなければなりません。

きちんとした説明責任を果たした上で、世論の支持を得た政策や事業は、住民から高い評価を得ることができます。

さらに、皆さんとの対話によって、こうした政策や事業を実施することになりましたと伝えていくことにより、自分たちの声が行政に生かされているという意識になると思われます。

昨今、行政主導ではなく、住民自身ができることは自分たちで行っていかうという大きな流れになってきています。

そうした行動を呼び起こすためのコミュニケーションの場づくりが、これからの広報に求められているのではないのでしょうか。

現在、市では各課ごとにさまざまな広報紙やチラシ、パンフレットの類のものを数多くつくっています。

しかし、それらが効果的に市民のために活用されているのか疑問が残るところであります。

必要な情報がしっかりと市民に伝わるようにするためにも、より重点的かつ効果的な広報が望まれると思います。

広報の現状をどう認識され、また今後具体的にどのような広報戦略をお考えなのか、お尋ねするところであります。

そこで、次の事項についてお尋ねいたします。

まず、内容及び発行回数ですが、毎回、同じようなお知らせになっていないだろうか。

また、1日号、16日号と月2回の発行の必要性があるのかお尋ねいたします。次に、広報いせさきのタイトルですが、合併前と同じ、平仮名のいせさきであります。

新市になってタイトルは検討したのか。

また合併前においては、新市名称選定のときに、漢字の伊勢崎にこだわった経過等があります。

そこで、タイトルについては、現在検討した経過があるのかどうかお尋ねいたします。

次に、毎月配られている広報いせさきを広く市民の皆さんに読んでもらえるように、広報いせさきをつづれるもの、ファイリングを用意する考えがあるかお尋ねいたします。

次に、インターネットの普及は目覚ましいものがあり、その手軽さから老若男女を問わなくなっています。

文字や写真、体系等がホームページで見やすく、使いやすいようにリニューアルを考えているかとの質問を考えていましたが、つい先日ホームページがリニューアルされているので驚きました。

使いやすく、見やすくなっておりましたので、これは評価したいと思います。しかしながら、字のポイント、伊勢崎市としてのホームの顔等に改良を加え、広報としてもっと広く市民に愛され、一体的に考えていくのかお尋ねいたします。

次に、行政カレンダーを導入することにより、広報紙との役割分担ができ、結果的に経費削減と広報紙が見やすくなると思われませんが、導入をどう考えるかお尋ねいたします。

大きな2点目、(仮称)東部モール周辺整備についてお尋ねいたします。

東地区西小保方町内に店舗が予想される東部モールであります。上武国道、県道桐生伊勢崎線が交差する東北に位置し、総面積9万5,000平方メートルを予定する巨大ショッピングモールであります。

駐車台数も3,000台を予定しており、買い物客等により交通が激しくなり、地域住民の生活環境が脅かされると思われま。

そこで、東部モール周辺整備について、どのような施策を考えているのかお尋ねいたします。

大きな3番目、都市計画についてお尋ねいたします。市民が快適に生活できる基盤づくりのために都市計画があり、合併により新市としての一体的なまちづくりを進めるための新たなビジョンが求められております。

この地域においては線引き、非線引き地域が混在し、一部の地域では開発が急速に進み、良好な住環境が崩れ、活力ある20万都市づくりに向けた適正な土地利用を推進する必要があると考えられます。

農・商・工のバランスのとれた発展はもとより、この地域全体が総合的かつ効率よく、調和のとれた計画策定が望まれているところであります。

都市計画の基本方針である都市計画マスタープランを平成20年度には策定すると聞いております。

そこで、都市計画の進捗状況、今後の予定、見直し等についてお尋ねいたします。

最後の4番目、中等教育学校についてお尋ねいたします。

今年6月議会において、中高一貫教育をどう考えているかの一般質問で、市立伊勢崎高校を中等教育学校に再編するとの答弁をいただき、以来今日まで、中等教育学校に対するさまざまな質問が展開されてきているところであります。伊勢崎地域を除く高崎、前橋、桐生、太田、安中等の地域では、附属中学なりを併設した高校が数多く見受けられます。

そんな中で、伊勢崎市に中等教育学校が誕生することは、この地域の教育の発展はもとより、広く伊勢崎市を元気で活力のある20万都市として誇れるものにすると思われれます。

そこでまず、説明会についてお尋ねいたします。

9月19日から10月4日まで市内合計10会場で開催したと思いますが、そのときの説明内容、動員人数、質問事項等についてお尋ねいたします。

次に、中等教育学校における、基本構想についてお尋ねいたします。

次に、施設の建設概要、規模、建設費用等はどのように見積もりをなさっているのかお尋ねいたします。

次に、開校時期であります、一般質問通告後の先月30日の議会運営委員会の席上、平成21年4月を予定とうかがいましたが、再度お尋ねいたします。

次に、市立中等教育学校の校名をいかが考えているのかお尋ねいたします。

次に、現在の市立伊勢崎高校の募集停止時期等、この市立伊勢崎高校の取り扱いをどう考えているのかお尋ねいたします。

以上で質問を終わりますが、御答弁によりましては再質問を留保いたします。